

積 寒 協 ニ ュ ー ス

全国積雪寒冷地帯振興協議会長（泉田新潟県知事）等が自由民主党、民主党、公明党に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

5 月 29 日に全国積雪寒冷地帯振興協議会長の泉田新潟県知事、副会長の石田飯山市長及び理事の島田栄村長が、自由民主党、民主党、公明党に対して雪寒地帯対策の要望活動を行いました。

各政党から対応していただいた方は、次のとおりです。

- 自由民主党
雪寒地帯振興委員長 小坂 憲次
- 民主党
政策調査会長 直嶋 正行
「次の内閣」の国土交通大臣
長浜 博行
- 公明党
副代表 井上 義久
副幹事長 魚住 裕一郎



（小坂委員長へ要望する泉田会長）

会長からは、「現在、世界的に食糧やエネルギー問題が取りざたされている中で、積雪寒冷地帯は、水資源に恵まれ、また食糧基地として日本を根底から支える重要な地域であり、この地域で安心して生活が営めるような仕組みを作ることが、日本の将来に大きなプラスとなる。」との説明がありました。また、石田副会長や島田理事からは、雪寒地帯の厳しい現状について説明がありました。

その上で、要望書に基づき、除雪経費の確保や、過疎化、高齢化が進行する地域への支援等について要望を行いました。



（左から泉田会長、小坂委員長、石田副会長、島田理事）

これに対して、自民党の小坂委員長からは、会長の説明や要望内容について、「特別委員会で討議したい。」とのコメントをいただきました。



（左から泉田会長、直嶋政策調査会長、石田副会長、島田理事、長浜「次の内閣」国土交通大臣）

なお、事務局において国土交通省都市・地域整備局地方整備課へ要望書を持参して説明したのをはじめ、関係省庁及び特別豪雪地帯市町村を所管する道府県から選出されている自由民主党の国会議員に対しては、要望書を配布しました。

また、民主党、公明党からも、「**過疎や農業問題も含めて、検討していきたい。**」とのコメントをいただきました。



（左から石田副会長、泉田会長、井上副代表、魚住副幹事長、島田理事）